

# 一般質問

4議員により7質問が行われました。

山崎愛子 議員

甘楽町の障害児・者に対する  
支援のあり方と甘楽町地域活動  
支援センター あゆみについて

山崎愛子 議員

ブックスタート事業を  
始めてください

**議員** 以前の「特殊教育」の受入れや夏休み・放課後

から「特別支援教育」になつて5年。障がい者の自立は地域社会の中で生涯に渡つて支援することが法律で決められている。町在住の対象者の現況を伺いたい。障がいの重複した方の高校卒業後はゆき場がなくなり家族の負担が大きい。「あゆみ」では9人の方が利用している。「あゆみ」では重複の障がいを持つている方々も利用出来るのか伺いたい。出来ないとしたら今後どのような方策を町として取ってもらえるのか伺いたい。

**議員** ブックスタートは、子育て支援のため、図書館

赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけを作る活動です。地域に生まれた総ての赤ちゃん対象に、

市区町村の活動として0歳児検診などで実施されます。東京都を始めとして全県的に広がりつつある活動です。

**町長** 身体障害者手帳所持者は594人います。生活状況は障がいの種類や程度環境により在宅や通所など支援形態は分かれています。重症の心身障がい児・者

重況は障がいの種類や程度環境により在宅や通所など支援形態は分かれています。重症の心身障がい児・者



「あゆみ」



町では保健センター、ら・ら・かからで乳幼児とその保護者を対象に読み聞かせ事業を展開しています。単に絵本をプレゼントするだけでなく、お互いに連携する協力体制をつくり上げることを念頭に検討していきます。



## 通学路の交通安全対策について

**議員** 全国各地で子どもたちの通学途中での痛ましい交通事故が発生しています。本町では絶対に起きてはならないし、対策も必要ではないかと考えます。一、通学路での安全点検は実施したのか、結果はどうだったのか。二、学校周辺をスクールゾーンにするための検討をしてはどうか。三、狭い橋に歩道橋の整備が必要と思うがどう考えるか。子どもたちが安心して暮らせる甘楽町の実現のため重要なことと考え質問をします。

**教育長** 各学校、幼稚園に通学路の再点検と交通安全指導の徹底の通知をし、一、町教育委員会としても点検を実施しました。中学校は通学路の指定がありません。小学校は49路線の通学路があり、その結果、注意が必要（道路幅員が狭い、変則交差点、見通が悪い）34か所。交通安全施設が必要（横断歩道、一時停止線）4か所。その他（側溝にふたが必要、路面の交通表示が薄い）9か所でした。皆さんの意見を踏まえ、二、スクールゾーンの検討、三、狭い橋の橋梁への計画的な歩道橋の整備など警察や道路管理者へ要望します。



小幡・裏門橋

## 交通安全対策の充実を

**議員** 児童の列へ車が突っ込んだり、悲しい、怒りを覚える交通事故が多発しています。原因は『過労』『病気』等で、法律違反です。運転者の法令順守と、歩行者の防護策が必要です。

①歩行中の児童に「ヘルメット着用」をする  
②高齢者の事故も多発：七五八五歳を過ぎたら「免許証の返還」も重要  
③高齢者が不自由のないように『福祉タクシー』の対象拡大  
④ボケ等運転禁止の状況を医療機関と警察と連携し行えるように、町が提案をする。

**町長** 町内の小中学校では、毎年交通安全教室を開催し、安全な自転車の乗り方やマナーについて指導しています。①通学時など、全員へヘルメット配布は考えていません。②免許証は適正検査、講習で問題なければ更新され、返納は本人の判断です。③福祉タクシーは、1級、2級の障がい者の方が該当されています。対象拡大は、今後のデマンドバス試験的運行の中で総合的に検討、対応していきます。④法律に基づいて実施されているので、町として提案するのは難しい。

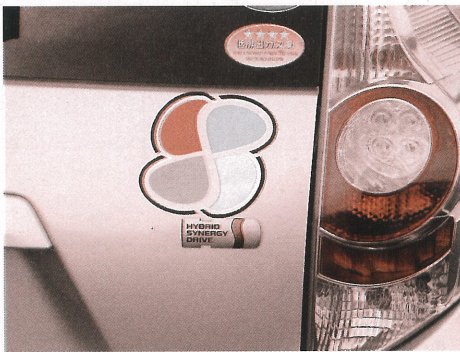
**議員** 「原発ゼロ」となりました。電力会社は、この夏の電力が心配と言いつつ、飯原発の稼働を急いでいますが、私はこのさい『原発ゼロ』をめざすべきと考えます。その「裏付け」は、全国の76自治体が自然エネルギー（自給率100%）（民生用）を達成しています。

①情報を集める  
②視察・研修をする  
③具体的な「計画」を作る（住用は不可欠の課題であり、住民の皆さんの参加をいただきたいながら、第5次総合計画に沿ってできることから進めていきます。

**町長** 甘楽町は自給率31%で県内15位です。①自給率100%は容易なことではありませんが、情報収集は重要と認識しています。

## エネルギー自給率100%をめざして

民参加で（事が必要です）④その他、町としての考えなどありますか。町の考えを伺います。



四つ葉のクローバー





## 自然災害・原発・放射能教育について

議員 世界中を震撼させた大地震と大津波、原発事故が起き、それまでの日本とは全く違った『国づくり』が始まりました。自然災害・原発・放射能教育について

①学校教育・社会教育などの場での実施状況  
②学習する時に必要な『情報』が図書館、学校、幼稚園などにどのくらいあるか。特別な予算をとる必要があると思うが、どうか  
③視察・研修等の状況  
④学校での検診に「甲状腺がん検査」を入れる  
⑤その他、これからの予定。

教育長 ①12月定例会でお話したとおり講演会を開催しました。  
②学習教材の整備状況について施設ごとの数量は確認

③現在までの空間放射線量測定結果、町の水道水、県の農畜水産物の放射性物質検査結果（検出されない、基準値を下回っていること）から、学校に甲状腺がん検査の導入は考えていません。しかし、必要な状況になれば迅速に対応します。  
⑤測定、検査は継続して実施します。

## 造石北部鎗川護岸工事について

議員 造石北部の鎗川右岸、状態では、この5〜60年の間吉井境までの間およそ150メートル。崖の崩落・河川の浸食が著しく進んでいます。有史以来放置された

その間には対岸の吉井町小柵字穴岡の地はすっかり護岸工事が終わり、見違えるような美田が実現しています。町の現状認識と対応策について考えを伺います。



鎗川右岸と対岸

町長 鎗川沿いの崖が崩壊し、民有地が浸食されている状況は理解しています。町から富岡土木事務所へ現状を報告し、必要な対応をお願いいたします。関係機関と連携を図り取り組んでいきます。

## 吉田議長

### 郡町村議会議長会長に就任

5月16日開催の甘楽郡町村議会議長会定期総会において、選任されました。任期は6月30日〜25年6月29日まで1年間です。

会長 吉田 恭一

(甘楽町議会議長)

副会長 石井 輝雄

(南牧村議会議長)

監事 千野 榮治

(下仁田町議会議長)

## 議会を傍聴しませんか

次回定例会(予定)

9月6日(木)~14日(金)

甘楽町議会ホームページもご覧ください。